

事例発表 佐々木牧師	ターミナルケア等牧師とスタッフとの間にはずれがある、このことを良く理解していることが良いケアにつながるのではないか。 牧師の視点と福祉職員の視点は異なるゆえに配慮すべき点	
	牧師に見られがちな傾向	配慮すべき点
	真理にあるという自負	100%理解しているわけではないことを知る
	主張と要求 とおらない場合に不満がつ のる	提案とお願いと考える
	したい話をする	相手がわかる話を考える
	やりたいこと	相手の「やって欲しいこと」は異なるか もしれないことを意識する



第6分科会・・・ 予防して、笑顔でいられる認知症ケア

(特別養護老人ホーム食堂ホール)

- ・練馬KG 小松俊宏 「笑顔を積み重ねて予防する認知症ケア」
- ・東中野KG 田中みのり、尾形愛喜 「ありのままのあなたに出会えた？」
- ・ケアハウス主の園 小林梨絵 「ケアハウスで暮らす」
- ・呉ベタニアホーム 水田麻帆 「地域に開かれたカフェ～認知症予防カフェ～」
- ・筑波KG 中山春香 「認知症になっても、私らしくいたい！」

書記：中山春香 (筑波キングス・ガーデン)

発表：水田麻帆 (呉ベタニアホーム)

<p>事 例 発 表</p>	<p>①「笑顔を積み重ねて予防する認知症ケア」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症を予防するには、要介護を悪化させない (入所時はあまり表情豊かではない。施設内では訴えが多くトラブルになることもある) ・悪化しない方が表情良く笑顔がある ・どうすれば、笑顔を取り戻せるか？ → マズローの5段階で満たしていくことで笑顔を取り戻せないか？ 生理的欲求(触れ合い、睡眠など) 安全の欲求(規則性がある生活) 社会的欲求(友情、愛情、信頼) 尊厳的欲求(尊敬されたい、社会的立場) 自己実現欲求(自分の目標) <p>②「ありのままのあなたに出会えた？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物紹介(グループホーム9人でワンフロア、低い天井、車椅子用の合わせた高さ調節可能な机、身体の状態に合わせたトイレ) ・ご利用者様の個性を尊重する(調理、買い出し、ジェンガなどを行っている) ・ご利用者様の時間の流れに合わせる(寄り添う) <p>「事例①」男性 初めは、意欲がなかった → 様々なところに食事に行く → スタッフと仲良くなった</p> <p>「事例②」女性 トイレに50回も行ってた → 食事や買い物に行くようになった</p> <p>「事例③」男性 10億円を失う → 女性のことが好き、色々な話をするようになった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありのままを受け入れ、一人ひとりに寄り添う事で笑顔を取り戻すことができた <p>③「ケアハウスでの暮らし」</p> <p>「事例」女性 平成7年に入居。3年前から認知症の症状が見られる。洗剤を化粧水と思い込み両目が赤くなり、点眼の介助を行う。両目が開かない状態で部屋を荒し傷も作る。洗剤を引き上げるものの、同じことの繰り返しになっている。弟様に相談しても、あまり関心をもってられない様子・介護申請をしていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様のペースに合わせることでお互いに笑顔でいられる <p>④「地域に開かれたカフェ～認知症予防カフェ～」</p> <p>「カフェご飯ハレルヤの取り組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3食(朝・昼・夕)栄養士のこだわりの食事 ・セミナーの開催(認知症予防カフェ、カルチャー講座、俳句や編み物の会) ・イベントの開催(ひな祭り、夏祭り、クリスマス会、茶話会) ・認知症カフェ(呉市からの委託事業) ・「場の提供を行っている」1回/月 ・脳は何歳からでも鍛えられる。曼荼羅塗り絵の実施(塗る時間を決めてできるだけ速く塗る) ・スピード感とハラハラ感があると脳が鍛えられる <p>目標：場の提供をすることで人の流れを作り、ハレルヤならではの地域興しにつなげたい</p>
----------------------------	---